

ホッケーアカデミー開催 小学生と高校生の交流



▲ホッケーアカデミーの様子

8月26日、横田高校ホッケーグラウンドにおいて、島根県ホッケー協会主催のホッケーアカデミーが開催されました。

町内の子どもたちにホッケーの楽しさを伝えホッケーの魅力を感じてもらうことを趣旨に、今回は横田高校ホッケー部員が町内の小学生36人に対しホッケーの指導を行いました。

高校生が考えた練習メニューを学年別に取り組み、メニューを終えた後には試合を行いました。

参加者は練習を通して交流を深め、ホッケーの楽しさを体感しました。

また、今回は島根県アスレティックトレーナー協議会と島根リハビリテーション学院の協力を得て、ウォーミングアップ方法や熱中症対策について学びました。

民生児童委員が交代されました 八川地区三井野・坂根自治会



▲就任された稲田さん

3月末日をもって退任された八川地区民生児童委員の糸原壽之さんに代わり、稲田住子さん(八川・坂根)が新たに就任されました。担当地区は、三井野、坂根自治会です。

6年4カ月にわたりお世話になりました糸原壽之さんには、退任にあたり、厚生労働大臣、島根県知事、奥出雲町長から感謝状が贈られました。

自然公園関係功労者環境大臣表彰 朝倉進さんが受賞



▲受賞された朝倉さん

環境省では、自然公園の保護とその適正な利用に関し、顕著な功績がある方または団体を表彰する「自然公園関係功労者環境大臣表彰」を行っています。

今年度は、全国で28件が選ばれ、奥出雲町から比婆道後帝釈国定公園において自然解説や公園利用について指導を続けてきた朝倉進さん(八川・川西)が受賞されました。

朝倉さんは30年以上にわたり、登山道等のパトロールや環境整備を行い、自然公園利用者の適正な指導等に尽力されています。

第39回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 (於：山口県)

準優勝の快挙! 鳥上ホッケースポーツ少年団



▲準優勝に輝いた鳥上ホッケースポーツ少年団

8月5日から6日に、山口県で開催された第39回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会において、鳥上ホッケースポーツ少年団が町内で初の準優勝に輝きました。

鳥上ホッケースポーツ少年団は鳥上小学校児童6人と阿井小学校児童3人で構成され、これまで練習を続けてきました。

大会では練習成果を十分に発揮し、予選リーグを1位で通過。決勝トーナメントでも順調に勝ち進み、決勝戦は春照ホッケースポーツ少年団(滋賀県)と対戦。5対0で敗れましたが、準優勝の快挙を成し遂げました。

8月10日には、役場仁多庁舎で報告会が行われ、勝田町長らが出迎えました。二澤拓海主将が大会結果を報告した後、選手一人ひとりが大会に参加した感想を話し、参加者は選手の健闘を称えました。

三成愛宕祭は古くから火難除けの神として崇敬される愛宕神社の夏祭り、8月24日に本祭り、25日に後祭りが行われました。

特設ステージでは神楽が披露され、通りには仁多乃炎太鼓などが参加した仁輪加パレードで賑わいました。

夜になると毎年恒例の約1000発の花火が大迫力の音を響かせながら三成の夜空を彩りました。



歴史ある晩夏の祭り

三成愛宕祭 大呂愛宕祭



大呂愛宕祭は、300年以上の歴史があり、火難よけ、家内安全を祈願する祭りです。

8月24日、華やかに飾られたどう屋台や扇型の山車燈籠などが大呂地内を巡行し、大呂愛宕大権現を目指しました。

どう屋台では、華やかな衣装を身にまとった子どもたちがお囃子の演奏を披露。また、趣向を凝らしたデコ屋台の人形劇が賑わいに一役買いました。

「奥たたら」商品発表試食会 (株)加地本社工場で開催



▲試食会に出された創作菓子

衝撃吸収材を使用した製品を製造している(株)加地が仁多米の焙煎玄米を活用した創作菓子を開発し、8月19日に三成の本社工場で商品発表試食会を開催しました。

試食会には、糸原徳康県議会議員はじめ約80人が招待されたほか、住民およそ150人が参加し、クッキーやアイスマイルなどの創作菓子4種を試食しました。

(株)加地では創作菓子「奥たたら」ブランドの商品製造・販売を通して、町特産の仁多米の新たな用途を生み出し、地域の農業振興や雇用創出を目指していきます。

さくらおろち湖トライアスロン大会 日頃の成果を発揮



▲マラソンの様子

9月3日、第2回さくらおろち湖トライアスロン大会がさくらおろち湖ボート競技施設および周辺地域で開催されました。

コースは、ダム湖を活用した水泳1.5km、周辺地域での自転車40km、マラソン10kmの全長51.5kmの設定。種目は「個人の部」に加え、2〜3人で種目を分担するリレーの部も設定されました。

県内外から257人のエントリーがあり、奥出雲町からは2人が参加しました。天候の影響もなく、ダム湖や豊かな自然の魅力を体感しながらのレースとなりました。

みんなで調べる宍道湖流入河川調査 布勢小学校が受賞



▲受賞した布勢小学校3・4年生の児童

みんなで調べる宍道湖流入河川調査に参加した布勢小学校が環境省中国四国地方環境事務所長賞を受賞しました。

この調査は、小中学生が宍道湖に流入する身近な河川の調査を行い、水質に関する理解を深めることなどを目的に、宍道湖水質汚濁防止対策協議会が主催しています。

布勢小学校の3・4年生が総合的な学習で八代川について、水生生物などの観察・調査を行い、調査結果を学習発表会等で発表してきたことが評価されました。